

# プログラミング未来描く

県小学生プログラミング大会2021が28日、松山市大手町1丁目の愛媛新聞社であり、書類審査を通過した児童10人が、テーマ「みんなの未来」に沿ったユニークな発想に基づくゲームやアニメーションをパソコンを使い披露した。

## 松山の成平さんV

松山で県小学生大会



最優秀賞の  
成平千鶴さん

読もう！



最優秀賞に輝き、来年3月にある全国大会への出場権を得たのは成平千鶴さん(11)＝松山市小野小5年。自身のアバター(分身)を動かして理科が好きな島民らと交流ができるゲーム「キュリーちゃん 島で遊ぼう」を作成した。

小学生らに好きな本や勉強している分野などをアンケートして登場人物に反映させたと説明。理科の女子学生が少ない現状を挙げ「プログラミングに興味がない女の子にかわいて、ほのぼのとしたゲームで楽しさを知ってもらいたい」と思いを語った。ほかに、地球温暖化対策から着想を得た二酸化

炭素(CO<sub>2</sub>)をエネルギーにして走る「CO<sub>2</sub>リサイクルカー」や、忘れ物を教えてくれる「執事ロボット」などの発表があった。

審査員で愛媛大の高橋寛工学部長は「みなさんどんなふうになればより良い世界になるかしっかり考えたプレゼンテーションでした」と講評。年齢や国に関係なくプログラミ

ングは問題解決の手段になるとして、今後の活躍に期待した。

大会は小学生のプログラミング教育を推進しようとして愛媛新聞社が初めて開催。愛媛大工学部が共催した。

(松本尚也)

ほかの入賞者は次の皆さん。

【優秀賞】姜悠貴(松山市・番町小4年)福田純平(久枝小3年)楠田寛(味酒小5年)小池祥誠(姫山小3年)【奨励賞】高松虎輝(松山市・道後小5年)赤野佑哉(東雲小5年)渡部颯介(みどり小6年)赤池逢心(久枝小4年)宮越仁(砥部町・麻生小5年)



県小学生プログラミング大会で、作成した作品を発表する児童＝28日午後、松山市大手町1丁目